

ID	団体名	振興局/市町村	事業対象地域	申請事業名	申請事業概要
1	特定非営利活動法人みんなのポラリス	十勝/帯広市	北海道及び十勝管内	身体障害者、難病患者の居場所づくり -カフェ形式の茶話会と障害者スポーツの普及	社会的に孤立している身体障害児者、難病患者の社会参加促進を目指して以下の3つの事業を実施する。 1.ハイブリッドカフェ 地域の障害者・患者団体と全国の障害者・患者団体をオンラインで結び、茶話会形式で諸問題について話し合い、共に考える。 2.ポラリスとかち 定期練習に加え、積極的に公式大会に遠征参加して、地域の若い身体障害者と共にパラリンピックを目指す。 3.U15ポッチャ帯広カップ 公式ルールによるポッチャの全道ジュニア大会を初開催する。公式ルールによるジュニア大会は国内で開催されたことがなく、北海道の身体障害児にとって大きな目標となる大会になると思われる。
2	特定非営利活動法人さっぽろ福祉支援ネットあいなび	石狩/札幌市	北海道	助け合いネットワーク連携でリスタート支援-社会的居場所を失った人へのリスタート支援	①助け合い団体の活動拠点地域における利用者を対象としたアンケート調査を行い、その結果を分析してコロナ禍での対策を講じて新たな繋がりを創る。 ②活動継続困難団体や社会的居場所を失った人々に向けて資金確保や運営等の講演や講習を行い、団体の再生支援と孤立者の新たな活動のリスタート支援を行う。 ③継続活動委託希望団体は②の参加を条件として、感染予防資材、アンケート調査等の人件費やIT化等の活性化活動経費として委託し継続が厳しい助け合い団体を再生させ社会的居場所や繋がりを失った地域弱者に新たな繋がりにより孤立からリスタートさせるための事業を行う。
3	特定非営利活動法人大雪山自然学校	上川/東川町	北海道・旭川市・東川町	仕事が減った人と社会課題のマッチング-若者・子育て家庭・観光従事者を支える仕組	当事業では、コロナ禍において社会的に孤立しがちな子育て家庭や非正規雇用者が、①子供が安心して過ごせる居場所を確保するとともに、②非正規雇用者をそのスタッフとしてマッチングを行う。特にインフォーマルな子供の居場所づくりに力を注ぎ、子供も保護者もスタッフも安心して活動できるよう研修を充実させる。 これにより、子育て家庭にとっては多様な交流の機会が増え、非正規雇用者は子供や地域とつながりのある活動で収入を得ることが期待される。なお、非正規雇用者の仕事は、保育現場だけではなく、親子が訪問する森や遊歩道整備等、観光地における環境整備も想定しており、個人の特性に合った現場と研修機会を提供する。

4	特定非営利活動法人みなば	石狩/札幌市	北海道札幌市、江別市	小さな手から大きな未来を創造する事業-ものづくり育成拠点と学びの場プロジェクト	<p>①子どもや地域住民のサードプレイスとしての活動・ものづくり拠点を作る。地元企業や団体、住民参加により、ものづくり体験工房やギャラリー設置を行う。ものづくりの集積・発信・共有・共栄の仕組みと拠点ネットワークの構築を目指す。あらゆる職業体験活動や、やってみたい活動が自由に行えることにより、新たな学びへの探究心を育てる。</p> <p>②食を通じての子どもを核とした持続可能な居場所・地域子ども食堂を実施。食べることだけでなく、地元企業や団体との連携により、夕市やあそびの場・アート・クッキング・工作などのワークショップなどを開催し、持続可能な関わりのきっかけを作り、体験型交流イベントを開催する。</p>
5	特定非営利活動法人ケアラズ北海道	石狩/札幌市	特定地域	毎日のしく、ゲンキ作戦-コロナ禍も音楽と笑いでつなぐリモート交流	<p>コロナ禍で活動の場を絶たれた演者（シンガー・各種演奏家・お笑い・パフォーマー・各種講師ほか）がAのスタジオや店舗から・Bの高齢者・障害者施設（自室から出られない人の為にお持ちの携帯で繋ぐ事も可。数量限定でタブレットの貸し出し）とのライブ交流を開催。同時進行でその模様をC地点から字幕に打ち込み流す。聴覚障害者、耳の遠くなりがちな方、また字幕を追うことで書物を読まなくなりつつある健常者にも刺激となる。相互交流の模様をリアルタイムで文字表示するのは活気的な事であり、今後広がる新分野の先駆けです。受け手だけだった皆さんがライブ交流で親近感が持て、次回への意欲に繋げる。続けることで変化の経過を記録する。</p>
6	一般社団法人なんらぼ	釧路/釧路市	釧路管内	観光PR活動による社会的居場所創出事業 社会的居場所xクリエイターx観光PR	<p>ひきこもりや不登校といった当事者の居場所機能の強化と人材育成を同時に行ない、生きづらさを抱えた方々の社会参加機会の拡充や副業の選択肢増加による経済的困窮の緩和を主目的とし、コロナの影響が大きい観光地や観光産業のPRを中心としたクリエイティブワーク（停止しているキャラコンテンツの再利用、youtube等の活用支援、VRコンテンツの作成等）のニーズ喚起と掘り起こしを行なう。また、その活動に地元のクリエイターやフリーランスが関わる体制を構築し、クリエイターやフリーランスの活躍の場の拡充も図る。</p>

7	特定非営利活動法人マイスペース美幌	オホーツク/美幌町	美幌町	製炭事業の担い手・働き手育成事業 地域の廃棄物資源化で障がい者雇用創出	<p>本事業は美幌町内に、従来の炭づくりイメージとは全く異なる、様々な材料を炭化できる製炭炉施設を設置し、障がい者、就労困難な若者等、未就労、能力を十分発揮しきれていない人材を中心に研修育成し、製炭業を開始する。</p> <p>従来の飲食業、清掃業等のサービス業主体の就労に加え、感染症による休業や立ち入り禁止等の影響を受けにくい製炭業を実施することで雇用の安定化を図る。</p> <p>炭づくりでは1次産業の残渣物、廃棄物を利用した炭を生産し、ゼロエミッションを実現する。自立した地域経済循環サイクルをつくることを目指す。</p> <p>炭を利用した土壌改良材、ペレット、消臭剤等の商品を周辺のNPO法人と連携し開発販売を進める。</p>
8	NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト	後志/余市町	余市町・仁木町	農業の担い手育成と持続可能な地域づくり	<p>①余市・仁木町内における農業人材不足を解消するために、都市部からの援農やパート労働者をマッチングする。就業に当たっては双方の要望を調整したり、地域住民との交流や悩み相談の他、地方の課題や持続可能な地域づくりを学ぶ交流研修の機会や移住のサポートを提供する。</p> <p>②短期・中期の援農ボランティアやパート労働者、農業研修生らの良好な住環境を確保するために、既存のゲストハウスや学生下宿、空き家などの住宅情報を調査・整理する。</p> <p>③農山村のインフラ設備のない環境でもオフグリッドで居住性の高いタイニーハウス（狭小住宅）を建設し、農業だけでなくツーリズム等への展開を検討する。”</p>
9	特定非営利活動法人なごみ	石狩/札幌市	札幌市	持続可能な未来のために～次世代への責任～ 「誰も置き去りにしない」SDGsの実践	<p>循環型社会の実現は、法人の最大の強みである当事者と専門家で成り立っているスタートコミュニティが既にあること。支援者と当事者(ピアサポーター)が共に作り上げる居場所は、困ったときの駆け込み場所として地域に根差していく。在宅生活を継続していく上でのサポートとして障がい者が「通えて、泊まれて、訪問してもらえる」多機能な仕組みを持つことで、地域で安心した在宅生活を送れる。日中活動では光を浴び、畑で野菜を育て、季節の食を味わう。汗をかいたらシャワーを浴びて、洗濯をする。自然な流れを行うことで、生活リズムを整い気持ちが安定する。至って特別なことはないが人間にとって必要な要素を盛り込んだプログラムを行う。</p>

10	特定非営利活動法人いぶり自然学校	胆振/苫小牧市	北海道	北海道森のようちえんリスタート事業 親子の心の安定と、持続的運営を目指して	もう一度幼児と保護者が屋外で遊び、森のようちえんの意義を共有し、コロナ禍によって失われつつある幼児と保護者の心身の健康を取り戻すための場と機会を提供する。具体的には、1. 全道で森のようちえんを実施している団体に協力してもらい、それぞれの団体にあったの森のようちえんに参加できる場と機会を提供してもらおう。2. そこで、参加しなくなりつつある幼児や保護者にもう一度森のようちえんの意義を確認してもらい、今後の参加や参画を促す。3. 指導者や運営者、ボランティアとコロナ禍においても活動を実施するための方法を考え、その体制を確立する。
11	特定非営利活動法人NEXT	留萌/留萌市	全国	学習支援事業 地域安全活動事業	近隣地域住民に対する学習支援事業（学習塾）
12	特定非営利活動法人みなと計画	石狩/江別市	江別市	若年アーティストの創作活動サポート事業	基盤(創作環境・精神・生活)が弱く、コロナの影響で孤立し、創作意欲の減退が起きている若年アーティストが今後も創作活動を続けられるようサポートをする。 >活動内容 ①孤立する若年アーティストの相談窓口を設け、ニーズに応じたサポートを行う ②若年アーティストの現状を把握する意見交換の場を設け、ニーズを把握する ③福祉事業者と連携したアートに関わる仕事を創出する ④若年アーティストと地域の店舗等をつなぎ、自身の作品を通じて収入につなげられる仕組みを作る >社会課題への貢献 自身の創作活動のみではなく、今回のような創作支援活動の担い手としてや、地域課題の解決にアートを取り入れる活動を行えるようになる。

13	特定非営利活動 くるくるネット	胆振/室蘭市	室蘭市	室蘭初。子どもと大人の居場所！常設型	<p>1. 室蘭市に談話室2か所（子ども用・大人用）と相談室を備えた常設型居場所を市内で初めて設置する。午後2時～8時の6時間、学習サポーター2名・生活支援サポーター1名・相談員1名を常駐。定員は20名。（大人10名・子ども10名）平日週4回以上。土曜日2回以上オープン。学習サポーターは新型コロナの影響で収入の減った、大学生・専門学生を積極的に採用。スペースは新型コロナウィルス対策として1人あたり3㎡を確保。子どもは学習の補修・PC学習・レクレーション等。大人は、PC訓練・コミュニケーション訓練等</p> <p>2. 活動の小冊子の配布。500部作製。</p> <p>3. 保護者・求職者向けにICTを使用した相談窓口を設置</p>
14	一般社団法人北海道ブックシェアリング	石狩/江別市	道央圏	親子の居場所・学び場としての絵本館の運営	<p>本会が運営する「北海道学校図書館づくりサポートセンター」（江別市、蔵書約3000冊）を、月に4回（毎月第1、第3土日）、「親子のための絵本館」として無料開放し、居場所として利用してもらうほか、それぞれの分野の専門家による絵本セミナー、手づくりワークショップ、絵本セラピー、学びの教室などの無料講座を開き、くつろぎと育みと学びの機会を創出する。利用は予約制で、ソーシャルディスタンスの確保と、プライバシーの観点から、一日最大12人までとする。また、社会福祉や大学連携、若者の交流、児童クラブなどの機関を持つ大麻銀座商店街というロケーションと連携を活かし、暮らしのバックアップにつなげていく。</p>
15	株式会社 PLOW	石狩/札幌市	札幌市・江別市	ゲストハウスを活用した生活困窮者支援事業 交流機能を用いた社会的孤立へのアプローチ	<p>本事業は、感染症災害によるホームレスの増加に対応するための居住確保を進めると同時に、ゲストハウスの交流機能を活かして、社会的孤立の問題に対する新しいアプローチを実施・普及する。さらには、ホームレス状態の生活困窮者が多く存在する札幌市とは異なり、一棟借上等による大型シェルター・支援付き住宅の整備が難しい地域において、ゲストハウスを活用したホームレス状態にある生活困窮者支援のノウハウ移転を試みる。今事業期間においては、札幌市のとなりに位置する江別市で、ゲストハウス「ゲニウス・ロキが旅をした」を運営する合同会社ロキに対し技術指導をすることで、当団体の取り組みの横展開を図ろうとするものである。</p>